

## 「保育室の人的環境に関する調査」

本調査の集計は、コンピュータにより統計的に処理し、個別名をあげて報告はいたしません。調査にご協力いただいた方にご迷惑をかけないよう万全の注意を払います。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

### A あなたの勤務する保育所のことについてお伺いします。

Q1. 保育所（園）の所在地 ( ) 都道府県 ( ) 市町村

Q2. 保育所（園）の設置主体 1. 公立 2. 私立

Q3. 定員と4月2日現在と調査票記入日現在の在籍数及び保育士数をご記入ください。

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員 (平成20年4月2日現在)	人	人	人	人	人	人
配置されていた保育士数 (平成20年4月2日現在)	人	人	人	人	人	人
障害児等の加配の人数 (平成20年4月2日現在)	人	人	人	人	人	人
在籍児数 (調査票記入日) 月 日現在	人	人	人	人	人	人
配置されている保育士数 (調査票記入日) 月 日現在	人	人	人	人	人	人
障害児等の加配の人数 (調査票記入日) 月 日現在	人	人	人	人	人	人

Q4. 0、1、2歳児のクラスは、どのような年齢構成になっていますか。記入日現在でお書きください。

(○印を付け、具体的にクラス数と担当保育士数をお書きください。)

1. 年齢ごとにクラスを設定している (クラス数 クラス) (担当保育士の全数 人)
2. 0、1歳児の混合のクラスとなっている (クラス数 クラス) (担当保育士の全数 人)
3. 1、2歳児の混合のクラスとなっている (クラス数 クラス) (担当保育士の全数 人)
4. 0～2歳児まですべてが混合のクラスである (クラス数 クラス) (担当保育士の全数 人)
5. その他 ( ) (担当保育士の全数 人)

Q5. 0、1、2歳児が使用している保育室は、どのような年齢構成で使用されていますか。

(○印を付け、具体的に部屋の数をお書きください)

1. 年齢ごとの保育室がある (保育室の数 部屋)
2. 0、1歳児の混合の保育室がある。 (保育室の数 部屋)
3. 1、2歳児の混合の保育室がある。 (保育室の数 部屋)
4. 0～2歳児まですべての混合の保育室がある。(保育室の数 部屋)
5. その他 ( )

Q6. 園（所）の開所時間と閉所時間をお書きください。 開所 時 分 ～ 閉所 時 分

**調査票 B-1**

**1歳児用**

あなたの担当するクラスについてお尋ねします。  
裏面の書き方を参考にしながら、1歳児クラスを担当している保育者のうち、どなたかお一人が  
代表してお答えください。  
(裏に記入例がありますので、参考にして下さい)

**1日の保育内容（デイリープログラム）について**

以下の活動のおおまかな時間帯を線で示す形で、 1日の保育内容（デイリープログラム）の概要をお書きください。 ・「登園」 ・「遊び」 ・「おやつ」 ・「食事」 ・「午睡」 ・「降園」	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00

**子どもの人数について**

このクラスの子どもの時間帯別の人数をお書きください。

6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

**保育者について**

このクラスを担当している保育者一人一人の雇用・勤務形態に○をつけるとともに、このクラスを担当している時間帯を線で示してください。  
また、各時間帯別に、このクラスの業務を担当している保育者の人数をお書きください。

保育者	雇用・勤務の形態															
	常勤	非常勤(フルタイム)	非常勤(短時間)	無資格者	常勤	非常勤(フルタイム)	非常勤(短時間)	無資格者	常勤	非常勤(フルタイム)	非常勤(短時間)	無資格者	常勤	非常勤(フルタイム)	非常勤(短時間)	無資格者
保育者A	○															
保育者B	○															
保育者C	○															
保育者D	○															
保育者E	○															
保育者F	○															
保育者G	○															
保育者H	○															
保育者I	○															
保育者J	○															

このクラスの業務を担当している保育者の時間帯別の人数をお書きください

6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

## 書き方例

### 1日の保育（デイリープログラム）について



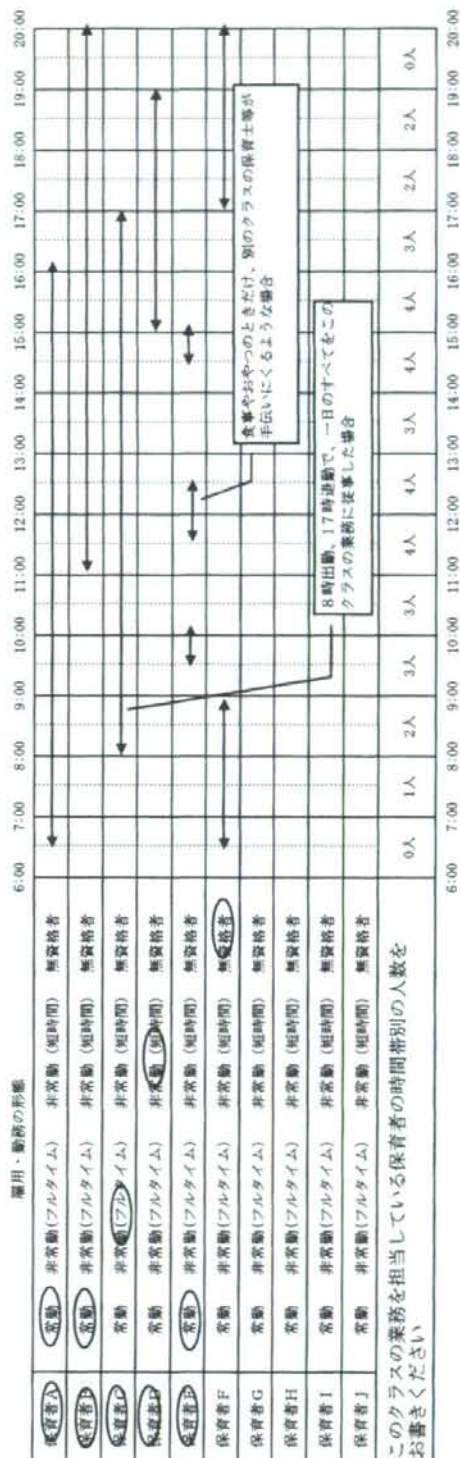
### 子どもの人数について

このクラスに存在する子どもの時間帯別の人数をお書きください。

	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
	0人	1人	7人	10人	11人	12人	13人	13人	13人	13人	12人	9人	6人	1人	

### 保育者について

このクラスを担当している保育者一人一人の雇用・勤務形態に○をつけるとともに、このクラスを担当している時間帯を線で示してください。また、各時間帯別に、このクラスの業務を担当している保育者の人数をお書きください。



あなたが1歳児クラスで担当されている保育についてお尋ねします。

Q1. 1日のうちで、あなたが特に「忙しい」と感じる活動はどれですか。3つ選んでください。

- |                  |                    |                  |
|------------------|--------------------|------------------|
| 1. 登園(所)前の掃除・片づけ | 2. 登園(所)時の子ども対応    | 3. 登園(所)時の保護者対応  |
| 4. 午前の遊び         | 5. 午後の遊び           | 6. 食事(授乳を含む)の援助  |
| 7. おやつへの援助       | 8. 午睡の援助           | 9. 排泄の援助         |
| 10. 着脱の援助        | 11. 清潔(沐浴、清拭等)面の援助 | 12. 延長保育への引き継ぎ   |
| 13. 連絡帳の記入など記録   | 14. 降園(所)時の子ども対応   | 15. 降園(所)時の保護者対応 |
| 16. 保育中の掃除・片づけ   | 17. 降園(所)後の掃除・片づけ  | 18. その他( )       |

Q2. あなたが、保育者がもっと多いほうがよいと感じる活動はありますか。

1. はい      2. いいえ

↓

「はい」と答えた方は、そのように感じる活動のすべてに○をつけてください(複数回答可)。

- |                  |                    |                  |
|------------------|--------------------|------------------|
| 1. 登園(所)前の掃除・片づけ | 2. 登園(所)時の子ども対応    | 3. 登園(所)時の保護者対応  |
| 4. 午前の遊び         | 5. 午後の遊び           | 6. 食事(授乳を含む)の援助  |
| 7. おやつへの援助       | 8. 午睡の援助           | 9. 排泄の援助         |
| 10. 着脱の援助        | 11. 清潔(沐浴、清拭等)面の援助 | 12. 延長保育への引き継ぎ   |
| 13. 連絡帳の記入など記録   | 14. 降園(所)時の子ども対応   | 15. 降園(所)時の保護者対応 |
| 16. 保育中の掃除・片づけ   | 17. 降園(所)後の掃除・片づけ  | 18. その他( )       |

Q3. 1歳児の保育者の数が今より多くなるとすれば、子どもや保育士の行動にどのような変化が生じるとお考えですか。下記の項目について、

今よりも以下の文のようになると思われる場合は「+1」、

今と変わらないと思われる場合は「0」、

に○印をつけてください。

い。

むしろ以下の文とは逆の結果となると思われる場合は「-1」、

A群 子どもについて

- |                         |    |   |    |
|-------------------------|----|---|----|
| 1. 食事を楽しむことができる         | +1 | 0 | -1 |
| 2. 睡眠など適切な休息をとれる        | +1 | 0 | -1 |
| 3. 清潔を保つ行動が増える          | +1 | 0 | -1 |
| 4. 身体的活動がしやすい           | +1 | 0 | -1 |
| 5. 聞く見る触れるなど感覚を使う機会が増える | +1 | 0 | -1 |
| 6. 言葉(喃語を含む)を発しやすくなる    | +1 | 0 | -1 |
| 7. 周囲の人やものに興味・関心をもつ     | +1 | 0 | -1 |
| 8. 情緒が安定する              | +1 | 0 | -1 |
| 9. 機嫌がよくなる              | +1 | 0 | -1 |
| 10. 集中して遊ぶようになる         | +1 | 0 | -1 |
| 11. 怪我が多くなる             | +1 | 0 | -1 |
| 12. 子どもが疲れにくくなる         | +1 | 0 | -1 |
| 13. 子ども同士のかかわりが多くなる     | +1 | 0 | -1 |
| 14. 子どものかみつきが少なくなる      | +1 | 0 | -1 |
| 15. 保育士への関わりを多く求める      | +1 | 0 | -1 |

B群 保育士について

- |                        |    |   |    |
|------------------------|----|---|----|
| 1. 健康状態の把握がしやすい        | +1 | 0 | -1 |
| 2. スキンシップをとりやすい        | +1 | 0 | -1 |
| 3. 排泄の援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 4. 食事の援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 5. 睡眠の援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 6. 清潔の援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 7. 着脱の援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 8. 遊びの援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 9. 言葉かけがしやすい           | +1 | 0 | -1 |
| 10. 保育士同士の会話がしやすい      | +1 | 0 | -1 |
| 11. 温度湿度の管理がしやすい       | +1 | 0 | -1 |
| 12. 玩具・遊具など物的環境を管理しやすい | +1 | 0 | -1 |
| 13. 安全管理をしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 14. 保育士のストレスがたまらない     | +1 | 0 | -1 |
| 15. 保育士が疲れにくくなる        | +1 | 0 | -1 |
| 16. 保育士の口調が柔らかくなる      | +1 | 0 | -1 |
| 17. 保護者への対応がしやすい       | +1 | 0 | -1 |
| 18. 保育の準備がしやすい         | +1 | 0 | -1 |
| 19. 指導計画の立案がしやすい       | +1 | 0 | -1 |
| 20. 子育て支援の業務がしやすい      | +1 | 0 | -1 |

**Q4 保育をしていて、保育者がもっと少ない方がよいと感じる活動はありますか。**

1. はい 2. いいえ

↓

「はい」と答えた方は、そのように感じる時間帯すべてに○をつけてください（複数回答可）。

- |                  |                    |                  |
|------------------|--------------------|------------------|
| 1. 登園（所）前の掃除・片づけ | 2. 登園（所）時の子ども対応    | 3. 登園（所）時の保護者対応  |
| 4. 午前の遊び         | 5. 午後の遊び           | 6. 食事（授乳を含む）の援助  |
| 7. おやつ援助         | 8. 午睡の援助           | 9. 排泄の援助         |
| 10. 着脱の援助        | 11. 清潔（沐浴、清拭等）面の援助 | 12. 延長保育への引き継ぎ   |
| 13. 連絡帳の記入など記録   | 14. 降園（所）時の子ども対応   | 15. 降園（所）時の保護者対応 |
| 16. 保育中の掃除・片づけ   | 17. 降園（所）後の掃除・片づけ  | 18. その他（         |

**Q5 1歳児の保育者の数が今より少なくなるとすれば、子どもや保育士の行動にどのような変化が生じると思われますか。下記の項目について、**

今よりも以下の文のようになると思われる場合は「+1」、

今と変わらないと思われる場合は「0」、

に○印をつけてください。

むしろ以下の文とは逆の結果となると思われる場合は「-1」、

**A群 子どもについて**

- |                         |    |   |    |
|-------------------------|----|---|----|
| 1. 食事を楽しむことができる         | +1 | 0 | -1 |
| 2. 睡眠など適切な休息をとれる        | +1 | 0 | -1 |
| 3. 清潔を保つ行動が増える          | +1 | 0 | -1 |
| 4. 身体的活動がしやすい           | +1 | 0 | -1 |
| 5. 聞く見る触れるなど感覚を使う機会が増える | +1 | 0 | -1 |
| 6. 言葉（喃語を含む）を発しやすくなる    | +1 | 0 | -1 |
| 7. 周囲の人やものに関心をもつ        | +1 | 0 | -1 |
| 8. 情緒が安定する              | +1 | 0 | -1 |
| 9. 機嫌がよくなる              | +1 | 0 | -1 |
| 10. 集中して遊ぶようになる         | +1 | 0 | -1 |
| 11. 怪我が多くなる             | +1 | 0 | -1 |
| 12. 子どもが疲れにくくなる         | +1 | 0 | -1 |
| 13. 子ども同士のかわりが多くなる      | +1 | 0 | -1 |
| 14. 子どものかみつきが少なくなる      | +1 | 0 | -1 |
| 15. 保育士への関わりを多く求める      | +1 | 0 | -1 |

**B群 保育士について**

- |                        |    |   |    |
|------------------------|----|---|----|
| 1. 健康状態の把握がしやすい        | +1 | 0 | -1 |
| 2. スキンシップをとりやすい        | +1 | 0 | -1 |
| 3. 排泄の援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 4. 食事の援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 5. 睡眠の援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 6. 清潔の援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 7. 着脱の援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 8. 遊びの援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 9. 言葉かけがしやすい           | +1 | 0 | -1 |
| 10. 保育士同士の会話がしやすい      | +1 | 0 | -1 |
| 11. 温度湿度の管理がしやすい       | +1 | 0 | -1 |
| 12. 玩具・遊具など物的環境を管理しやすい | +1 | 0 | -1 |
| 13. 安全管理がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 14. 保育士のストレスがたまらない     | +1 | 0 | -1 |
| 15. 保育士が疲れにくくなる        | +1 | 0 | -1 |
| 16. 保育士の口調が柔らかくなる      | +1 | 0 | -1 |
| 17. 保護者への対応がしやすい       | +1 | 0 | -1 |
| 18. 保育の準備がしやすい         | +1 | 0 | -1 |
| 19. 指導計画の立案がしやすい       | +1 | 0 | -1 |
| 20. 子育て支援の業務がしやすい      | +1 | 0 | -1 |

**Q6 1歳児担当の保育者の人数について、あなたはどのようにお考えですか。**

1. 今の人数がちょうどよい

2. 今より多いほうがよい

（具体的にどれぐらい多いほうがよいですか。

今 \_\_\_\_\_ 人のところあと \_\_\_\_\_ 人）

3. 今より少ない方がよい

（具体的にどれぐらい少ないほうがよいですか。

今 \_\_\_\_\_ 人のところあと \_\_\_\_\_ 人）

Q7 4月頃の1歳児担当の保育者の人数について、今（調査時）と比べてあなたはどのようにお考えですか。

1. 今の人数がちょうどよい
2. 今より多いほうがよい  
(具体的にどれくらい多いほうがよいですか。 今 \_\_\_\_\_ 人のところあと \_\_\_\_\_ 人)
3. 今より少ないほうがよい  
(具体的にどれくらい少ないほうがよいですか。 今 \_\_\_\_\_ 人のところあと \_\_\_\_\_ 人)

Q8 あなたは、園内での業務のうち、次の事項にどのくらい時間をかけていますか。

1. 保育の準備（教材準備や環境構成など）（1日のうち \_\_\_\_\_ 時間）
2. 記録（1日のうち \_\_\_\_\_ 時間）
3. 指導計画（日案など）の立案（1日のうち \_\_\_\_\_ 時間）
4. 掃除などの環境整備（1日のうち \_\_\_\_\_ 時間）
5. その他（具体的に \_\_\_\_\_ ）（1日のうち \_\_\_\_\_ 時間）
6. 特定のテーマに基づく会議（1週間のうち \_\_\_\_\_ 時間）
7. 担当クラスでの会議（1週間のうち \_\_\_\_\_ 時間）
8. 園全体での会議（1週間のうち \_\_\_\_\_ 時間）
9. その他（具体的に \_\_\_\_\_ ）（1週間のうち \_\_\_\_\_ 時間）

Q9 充実した保育を展開するための人的環境を構成する上で、工夫している点についてご自由にご記入下さい。（自由記述）

Q10 最後に、あなた自身のことについてお尋ねします。

1. あなたのクラスでの役割分担は 1. リーダー 2. サブリーダー 3. その他
2. あなたは主任（それに準ずる園長を補佐する立場の人）ですか 1. はい 2. いいえ
3. あなたの就業（雇用）形態は 1. 常勤 2. 非常勤（フルタイム） 3. 非常勤（短時間）
4. 保育所の勤務年数の通算は  
ア. 1年未満 イ. 1年以上5年未満 ウ. 5年以上10年未満 エ. 10年以上20年未満  
オ. 20年以上30年未満 カ. 30年以上
5. あなたの性別は 1. 男 2. 女

ご協力、ありがとうございました。

調査票 C-1

2歳児用

あなたの担当するクラスについてお尋ねします。  
裏面の書き方を参考にしながら、2歳児クラスを担当している保育者のうち、どなたかお一人が  
代表してお答えください。  
(裏に記入例がありますので、参考にして下さい)

1日の保育内容(デイリープログラム)について

以下の活動のおおまかな時間帯を線で示す形で、 1日の保育内容(デイリープログラム)の概要をお書きください。 ・「登園」 ・「遊び」 ・「おやつ」 ・「食事」 ・「午睡」 ・「降園」	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
	[Blank grid for daily program content]														

子どもの人数について

このクラスの子どもの時間帯別の人数をお書きください。

6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

保育者について

このクラスを担当している保育者一人一人の雇用・勤務形態に○をつけるとともに、このクラスを担当している時間帯を線で示してください。  
また、各時間帯別に、このクラスの業務を担当している保育者の人数をお書きください。

保育者	雇用・勤務の形態		時間帯														
	常勤	非常勤(フルタイム)	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
保育者A	常勤	非常勤(フルタイム)															
保育者B	常勤	非常勤(フルタイム)															
保育者C	常勤	非常勤(フルタイム)															
保育者D	常勤	非常勤(フルタイム)															
保育者E	常勤	非常勤(フルタイム)															
保育者F	常勤	非常勤(フルタイム)															
保育者G	常勤	非常勤(フルタイム)															
保育者H	常勤	非常勤(フルタイム)															
保育者I	常勤	非常勤(フルタイム)															
保育者J	常勤	非常勤(フルタイム)															
このクラスの業務を担当している保育者の時間帯別の人数を お書きください。																	

## 書き方例

### 1日の保育（デイリープログラム）について



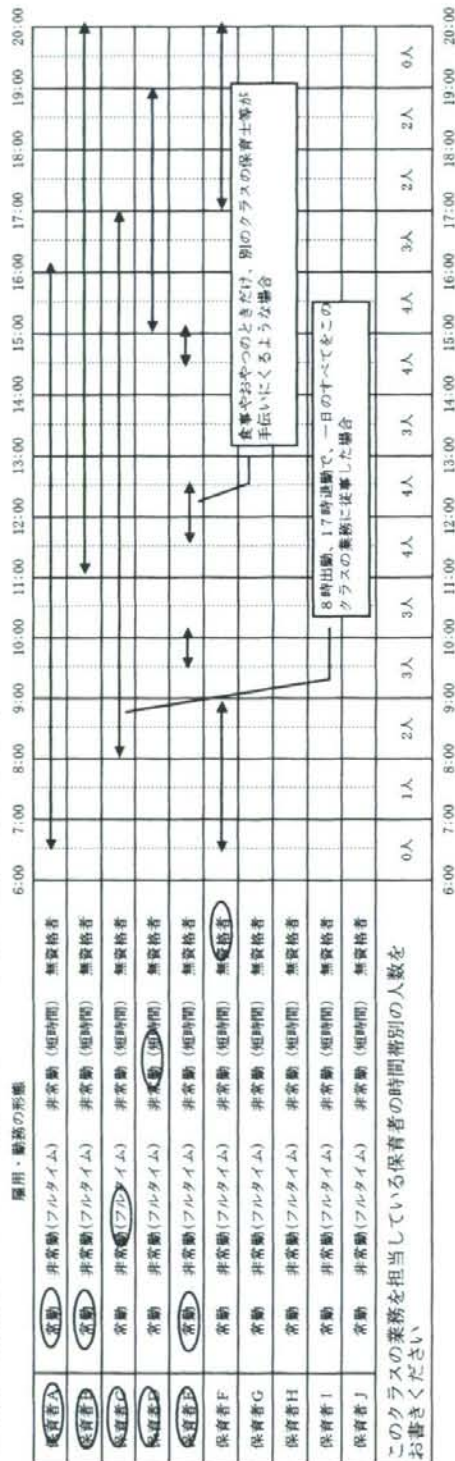
### 子どもの人数について

このクラスに存在する子どもの時間帯別の人数をお書きください。

6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
0人	1人	7人	10人	10人	11人	12人	13人	13人	13人	12人	9人	6人	1人	

### 保育者について

このクラスを担当している保育者一人一人の雇用・勤務形態に○をつけるとともに、このクラスを担当している時間帯を線で示してください。また、各時間帯別に、このクラスの業務を担当している保育者の人数をお書きください。





あなたが2歳児クラスで担当されている保育についてお尋ねします。

Q1. 1日のうちで、あなたが特に「忙しい」と感じる活動はどれですか。3つ選んでください。

- |                  |                    |                  |
|------------------|--------------------|------------------|
| 1. 登園（所）前の掃除・片づけ | 2. 登園（所）時の子ども対応    | 3. 登園（所）時の保護者対応  |
| 4. 午前の遊び         | 5. 午後の遊び           | 6. 食事（授乳を含む）の援助  |
| 7. おやつへの援助       | 8. 午睡の援助           | 9. 排泄の援助         |
| 10. 着脱の援助        | 11. 清潔（沐浴、清拭等）面の援助 | 12. 延長保育への引き継ぎ   |
| 13. 連絡帳の記入など記録   | 14. 降園（所）時の子ども対応   | 15. 降園（所）時の保護者対応 |
| 16. 保育中の掃除・片づけ   | 17. 降園（所）後の掃除・片づけ  | 18. その他（ ）       |

Q2. あなたが、保育者がもっと多いほうがよいと感じる活動はありますか。

1. はい      2. いいえ

↓

「はい」と答えた方は、そのように感じる活動のすべてに○をつけてください（複数回答可）。

- |                  |                    |                  |
|------------------|--------------------|------------------|
| 1. 登園（所）前の掃除・片づけ | 2. 登園（所）時の子ども対応    | 3. 登園（所）時の保護者対応  |
| 4. 午前の遊び         | 5. 午後の遊び           | 6. 食事（授乳を含む）の援助  |
| 7. おやつへの援助       | 8. 午睡の援助           | 9. 排泄の援助         |
| 10. 着脱の援助        | 11. 清潔（沐浴、清拭等）面の援助 | 12. 延長保育への引き継ぎ   |
| 13. 連絡帳の記入など記録   | 14. 降園（所）時の子ども対応   | 15. 降園（所）時の保護者対応 |
| 16. 保育中の掃除・片づけ   | 17. 降園（所）後の掃除・片づけ  | 18. その他（ ）       |

Q3. 2歳児の保育者の数が今より多くなるとすれば、子どもや保育士の行動にどのような変化が生じるとお考えですか。下記の項目について、

今よりも以下の文のようになると思われる場合は「+1」、

今と変わらないと思われる場合は「0」、

に○印をつけてください。

むしろ以下の文とは逆の結果となると思われる場合は「-1」、

A群 子どもについて

- |                         |    |   |    |
|-------------------------|----|---|----|
| 1. 食事を楽しむことができる         | +1 | 0 | -1 |
| 2. 睡眠など適切な休息をとれる        | +1 | 0 | -1 |
| 3. 清潔を保つ行動が増える          | +1 | 0 | -1 |
| 4. 身体的活動がしやすい           | +1 | 0 | -1 |
| 5. 聞く見る触れるなど感覚を使う機会が増える | +1 | 0 | -1 |
| 6. 言葉（喃語を含む）を発しやすくなる    | +1 | 0 | -1 |
| 7. 周囲の人やものに興味・関心をもつ     | +1 | 0 | -1 |
| 8. 情緒が安定する              | +1 | 0 | -1 |
| 9. 機嫌がよくなる              | +1 | 0 | -1 |
| 10. 集中して遊ぶようになる         | +1 | 0 | -1 |
| 11. 怪我が多くなる             | +1 | 0 | -1 |
| 12. 子どもが疲れにくくなる         | +1 | 0 | -1 |
| 13. 子ども同士のかかわりが多くなる     | +1 | 0 | -1 |
| 14. 子どものかみつきが少なくなる      | +1 | 0 | -1 |
| 15. 保育士への関わりを多く求める      | +1 | 0 | -1 |

B群 保育士について

- |                        |    |   |    |
|------------------------|----|---|----|
| 1. 健康状態の把握がしやすい        | +1 | 0 | -1 |
| 2. スキンシップをとりやすい        | +1 | 0 | -1 |
| 3. 排泄の援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 4. 食事の援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 5. 睡眠の援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 6. 清潔の援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 7. 着脱の援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 8. 遊びの援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 9. 言葉かけがしやすい           | +1 | 0 | -1 |
| 10. 保育士同士の会話がしやすい      | +1 | 0 | -1 |
| 11. 温度湿度の管理がしやすい       | +1 | 0 | -1 |
| 12. 玩具・遊具など物的環境を管理しやすい | +1 | 0 | -1 |
| 13. 安全管理がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 14. 保育士のストレスがたまらない     | +1 | 0 | -1 |
| 15. 保育士が疲れにくくなる        | +1 | 0 | -1 |
| 16. 保育士の口調が柔らかくなる      | +1 | 0 | -1 |
| 17. 保護者への対応がしやすい       | +1 | 0 | -1 |
| 18. 保育の準備がしやすい         | +1 | 0 | -1 |
| 19. 指導計画の立案がしやすい       | +1 | 0 | -1 |
| 20. 子育て支援の業務がしやすい      | +1 | 0 | -1 |

Q4 保育をしていて、保育者がもっと少ない方がよいと感じる活動はありますか。

1. はい 2. いいえ



「はい」と答えた方は、そのように感じる時間帯すべてに○をつけてください（複数回答可）。

- |                  |                    |                  |
|------------------|--------------------|------------------|
| 1. 登園（所）前の掃除・片づけ | 2. 登園（所）時の子ども対応    | 3. 登園（所）時の保護者対応  |
| 4. 午前の遊び         | 5. 午後の遊び           | 6. 食事（授乳を含む）の援助  |
| 7. おやつへの援助       | 8. 午睡の援助           | 9. 排泄の援助         |
| 10. 着脱の援助        | 11. 清潔（沐浴、清拭等）面の援助 | 12. 延長保育への引き継ぎ   |
| 13. 連絡帳の記入など記録   | 14. 降園（所）時の子ども対応   | 15. 降園（所）時の保護者対応 |
| 16. 保育中の掃除・片づけ   | 17. 降園（所）後の掃除・片づけ  | 18. その他（ ）       |

Q5 2歳児の保育者の数が今より少なくなるとすれば、子どもや保育士の行動にどのような変化が生じると思われますか。下記の項目について、

今よりも以下の文のようになると思われる場合は「+1」、

今と変わらないと思われる場合は「0」、

に○印をつけてください。

い。

むしろ以下の文とは逆の結果となると思われる場合は「-1」、

A群 子どもについて

- |                         |    |   |    |
|-------------------------|----|---|----|
| 1. 食事を楽しむことができる         | +1 | 0 | -1 |
| 2. 睡眠など適切な休息をとれる        | +1 | 0 | -1 |
| 3. 清潔を保つ行動が増える          | +1 | 0 | -1 |
| 4. 身体的活動がしやすい           | +1 | 0 | -1 |
| 5. 聞く見る触れるなど感覚を使う機会が増える | +1 | 0 | -1 |
| 6. 言葉（喃語を含む）を発しやすくなる    | +1 | 0 | -1 |
| 7. 周囲の人やものに興味・関心をもつ     | +1 | 0 | -1 |
| 8. 情緒が安定する              | +1 | 0 | -1 |
| 9. 機嫌がよくなる              | +1 | 0 | -1 |
| 10. 集中して遊ぶようになる         | +1 | 0 | -1 |
| 11. 怪我が多くなる             | +1 | 0 | -1 |
| 12. 子どもが疲れにくくなる         | +1 | 0 | -1 |
| 13. 子ども同士のかかわりが多くなる     | +1 | 0 | -1 |
| 14. 子どものかみつきが少なくなる      | +1 | 0 | -1 |
| 15. 保育士への関わりを多く求める      | +1 | 0 | -1 |

B群 保育士について

- |                        |    |   |    |
|------------------------|----|---|----|
| 1. 健康状態の把握がしやすい        | +1 | 0 | -1 |
| 2. スキンシップをとりやすい        | +1 | 0 | -1 |
| 3. 排泄の援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 4. 食事の援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 5. 睡眠の援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 6. 清潔の援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 7. 着脱の援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 8. 遊びの援助がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 9. 言葉かけがしやすい           | +1 | 0 | -1 |
| 10. 保育士同士の会話がしやすい      | +1 | 0 | -1 |
| 11. 温度湿度の管理がしやすい       | +1 | 0 | -1 |
| 12. 玩具・遊具など物的環境を管理しやすい | +1 | 0 | -1 |
| 13. 安全管理がしやすい          | +1 | 0 | -1 |
| 14. 保育士のストレスがたまらない     | +1 | 0 | -1 |
| 15. 保育士が疲れにくくなる        | +1 | 0 | -1 |
| 16. 保育士の口調が柔らかくなる      | +1 | 0 | -1 |
| 17. 保護者への対応がしやすい       | +1 | 0 | -1 |
| 18. 保育の準備がしやすい         | +1 | 0 | -1 |
| 19. 指導計画の立案がしやすい       | +1 | 0 | -1 |
| 20. 子育て支援の業務がしやすい      | +1 | 0 | -1 |

Q6 2歳児担当の保育者の人数について、あなたはどのようにお考えですか。

1. 今的人数がちょうどよい

2. 今より多いほうがよい

（具体的にどれぐらい多いほうがよいですか。

今 \_\_\_\_\_ 人のところあと \_\_\_\_\_ 人）

3. 今より少ない方がよい

（具体的にどれぐらい少ない方がよいですか。

今 \_\_\_\_\_ 人のところあと \_\_\_\_\_ 人）

Q7 4月頃の2歳児担当の保育者の人数について、今（調査時）と比べてあなたはどのようにお考えですか。

1. 今の人数がちょうどよい
2. 今より多いほうがよい  
(具体的にどれぐらい多いほうがいいですか。 今 \_\_\_\_\_ 人のところあと \_\_\_\_\_ 人)
3. 今より少ないほうがよい  
(具体的にどれぐらい少ないほうがいいですか。 今 \_\_\_\_\_ 人のところあと \_\_\_\_\_ 人)

Q8 あなたは、園内での業務のうち、次の事項にどのくらい時間をかけていますか。

1. 保育の準備（教材準備や環境構成など）（1日のうち \_\_\_\_\_ 時間）
2. 記録（1日のうち \_\_\_\_\_ 時間）
3. 指導計画（日案など）の立案（1日のうち \_\_\_\_\_ 時間）
4. 掃除などの環境整備（1日のうち \_\_\_\_\_ 時間）
5. その他（具体的に \_\_\_\_\_ ）（1日のうち \_\_\_\_\_ 時間）
6. 特定のテーマに基づく会議（1週間のうち \_\_\_\_\_ 時間）
7. 担当クラスでの会議（1週間のうち \_\_\_\_\_ 時間）
8. 園全体での会議（1週間のうち \_\_\_\_\_ 時間）
9. その他（具体的に \_\_\_\_\_ ）（1週間のうち \_\_\_\_\_ 時間）

Q9 充実した保育を展開するための人的環境を構成する上で、工夫している点についてご自由にご記入下さい。（自由記述）

Q10 最後に、あなた自身のことについてお尋ねします。

1. あなたのクラスでの役割分担は 1. リーダー 2. サブリーダー 3. その他
2. あなたは主任（それに準ずる園長を補佐する立場の人）ですか 1. はい 2. いいえ
3. あなたの就業（雇用）形態は 1. 常勤 2. 非常勤（フルタイム） 3. 非常勤（短時間）
4. 保育所の勤務年数の通算は  
ア. 1年未満                      イ. 1年以上5年未満                      ウ. 5年以上10年未満                      エ. 10年以上20年未満  
オ. 20年以上30年未満                      カ. 30年以上
5. あなたの性別は 1. 男 2. 女

ご協力、ありがとうございました。

## 第4章 観察研究による保育士業務の検討

## 第4章 観察研究による保育士業務の検討

### 第1節 目的

第2章では、保育士の業務としてどのようなものがあるか、先行研究等を参考にしながらまとめられた。また、第3章においては、保育士が自分の業務をどの程度大変と感じているかなどを、現場の保育士を対象としたアンケート調査を通して検討した。本章では、実際の保育場面を観察することで、第2章および第3章で論じられたことを確認しながら、現状の保育における保育士業務の問題点を明らかにすることを目的とする。

### 第2節 方法

#### (1) 観察対象

全国4地域（横浜市、福井市、倉敷市、広島市）の保育所4園（公立2園、私立2園）に協力していただき、その1歳児クラスの保育場面を観察した。いずれの園も、他年齢児との混合クラスではなく、単独で1歳児クラスを設けている園である。この報告書の中では、以降、可能なかぎり園を特定しにくくするために、A園、B園、C園、D園と記述することにする。（このA～Dのラベル付けは、もちろん、前述した地域の順とはまったく関係なく、ランダムに並び替えたものである。）

保育場面には、当然、子どもと保育士が存在するわけであるが、ここでの目的は保育士の業務の観察であるため、観察の主対象は保育士とし、子どもの活動については、保育士との相互作用として必要な部分のみにとどめた。実際に観察対象とした保育士は各園2名もしくは3名であった。一部の園では、そのクラスを担当している保育士の数が多いところもあった。本来であれば、そのクラスを担当しているすべての保育士を観察すべきであるが、観察者側の人数の問題等もあり、各園2名もしくは3名に限定した。（各園の保育士や子どもの人数などは、結果の記録表を参照のこと。）

#### (2) 観察日と観察時間帯

平成21年2月13日～2月27日の期間のうち、

平日の通常保育を実施している日に、1園につき1日ずつ観察を行った。ただし、D園についてだけ、子どもと保育士の人数比が異なる2日分を観察した。（各園の具体的な観察日は、結果の記録表を参照のこと。）

その日のうちの観察時間帯は、おおむね9時からおおむね13時までの4時間とした。この時間帯の設定は、その中に午前中の遊び、おやつ、昼食、午睡の準備などが含まれるようにという意図で設定した。本来であれば、保育士が朝に出勤してから、夕方に退勤するまでのすべての時間帯を観察すべきかもしれない。しかし、現実的に1日中観察することは労力的にも困難であること、遊びなどの活動は午前にも午後にも展開されるがどちらか一方で他方がある程度推測できること、第3章の調査研究でも明らかなように食事の援助から午睡にかけての昼の時間帯が最も大変であること、などの理由から、今回の時間帯に設定した。

#### (3) 観察手続き

原則として、保育士1名に対して観察者が1名担当することで、直接観察を行った。あとから観察内容を詳細に確認できるように、保育場面全体が写るようにビデオカメラ1台で撮影した。

観察にあたっては、以下の12項目の観点にそって保育士の活動を記録した。

#### 観察上の観点

- ①排泄の援助
- ②清潔の援助
- ③食事等（おやつ）の援助
- ④着替えの援助
- ⑤午睡の援助
- ⑥掃除
- ⑦遊び等の活動の援助
- ⑧対話による親との連携
- ⑨連絡帳等による親との連携
- ⑩保育士同士の打ち合わせ
- ⑪事務
- ⑫その他

観察時間を5分単位で区切り、その5分間単位で保育士が何をしているか、その活動内容をできるだけ詳細に記述するようにした。

保育の実践においては、保育士は常に頭の中でさまざまな意図をもって活動していると思われるが、今回の観察では、あくまで外的に観察可能なものに限って記述した。

### 第3節 結果と考察

#### (1) 観察記録について

今回の観察記録は、図表4-1から図表4-10までにまとめ、章末にまとめて掲載した。

図表4-1から図表4-5は、観察者による生の記録そのままである。実際の保育の場面で保育士がどのように活動しているかを具体的に示すために、紙面がやや多くなるが、今回の報告書ではあえて掲載することとした。1つの図表に1つの園の記録がまとめられている。観察した保育士毎に、5分間単位で行っている活動を文章で表現している。

図表4-6から図表4-10は、図表4-1から図表4-10の記録を、前節の観察手続きで記述した12項目の観点から分類し、5分単位でそれらの項目がみられたかどうかを表にまとめ直したものである。表中の○は保育士Aの行動、▲は保育士Bの行動、■は保育士Cの行動を示しており、表の中にこれらの記号があることはその時間帯にその種類の行動があったことを表している。

#### (2) 観察記録からうかがえること

##### ①保育士の活動の多様性

今回の観察を通して、5分間という短い時間の間にも、保育士が多様な仕事をこなしていることがうかがえた。たとえば、A園の保育士Aは、9時10分から9時15分の5分間に、「おやつのお皿等を片付けて、子どもの排泄を促すためにトイレに誘うとともに、実際に排泄の介助をし、その子がズボンを自分ではけるように工夫をし、子どものペースでズボンはきの援助をし、5人の子どもを園庭に誘い、順次、靴を履く援助をしている。

食事に関する援助、排泄に関する援助、着替えに関する援助、遊びに関する援助などが、わずか5分の間に次々と現れてくる。

その場に応じて適切に対応するための臨機応変さが保育士には求められる。そのことは、保育士の人数が少なければ少ないほど、より高度な臨機応変が必要とされると考えられる。

##### ②保育士の役割分担

今回観察した保育場面では、それぞれの保育士が一定の役割を分担している様子がうかがえた。たとえば、今回の観察ではおおむね次のような役割が見られた。すなわち、子どもと関わりながら子どもの活動傾向をうまく見きわめて保育全体の流れを決定していく役割、第一の役割の保育士と一緒に活動しながらも別の視点から子どもの活動を支える役割、場面全体の流れに入れない子どもと関わる役割、次の活動のための準備や既に済んだ活動の後片付けなどを通して全体の保育の流れをスムーズにする役割などである。実際には、ある程度これらの役割を特定の保育士に固定している園もあれば、時間によって保育士の役割を順次交代していく園もある。また、一人の保育士がこれらの役割の一つだけではなく複数の役割を担っている場合が多い。

このように保育士が業務の役割分担をすることは、ある意味、少ない人数で効率的に保育が進行するようになされた現場の保育士の工夫といえるかもしれない。

##### ③時間帯による違い

保育士の業務内容は、時間帯によっていろいろな違いがみられる。特定の時間帯に特徴的に現れる活動もあれば、あらゆる時間帯に生じる活動もある。たとえば、食事等に関する援助や午睡に関する援助などは、やはり特定の時間に多く現れる。一方で、排泄に関する援助や清潔に関する援助などは、その出現の時間帯に一定の傾向はみられるものの、いろいろな時間帯に不規則に出現する側面も持っている。

特筆すべきことは、たとえば、食事等に関する援助などは、特定の時間帯に出現する業務であるが、その時間帯はいわゆる食事を食べている時間帯だけではなく、その前後に準備や後片付けなどの時間もとられるということである。一部の保育士であれ、こうした準備や後片付けに時間をとられるということは、その間、子どもへの対応がその分だけ弱くなることを意味する。

#### ④保育空間による違い

保育空間の使い方によっても保育士の業務内容は変わってくる。今回観察したA園とC園は、食事をする空間と遊び等の活動のための空間が分かれている。それに対して、B園とD園では、その都度、保育空間を区切り直ししながら、場面の転換を行っている。そのため、B園とD園では、随時、棚や仕切りを移動したり、敷物を敷いたりたたんだりという活動が頻繁に現れる。当然のことであるが、こうした雑用的な業務に従事していれば、その分、子どもと直接関わる時間は単純計算で少なくなるし、その分、他の保育士が1人でより多数の子どもを担当せざるを得なくなる。たとえばD園などでは、一時的にはあるが、1人の保育士が10～12人の子どもを担当せざるを得なくなることがあられる。

保育空間の設定の仕方をどうするかは、保育環境として重要なテーマであるが、空間の設定の仕方によって保育士の人数は当然変わってくるものであり、保育士の人数を考える際には、空間的環境の問題も考慮に入れる必要があるであろう。

#### ⑤子どもへの言葉かけ

子どもと関わる際には、子どもへの言葉かけが多くなされていることもうかがえる。たとえば、A保育園の保育士Bは、9時55分から10時00分の間に、排泄や清潔に関する援助を行っているが、その際に「出たかなあ」とか「手を洗ったかなあ」などと声かけをし、10時00分から10時05分の間に滑り台遊びで関わっている際に、「順番ですよ」、「そちらから来ると危ないです」、「並んでね」、

「すべれたすべれた」などと子ども一人ひとりに言葉かけがなされている。こうした言葉かけには、次の活動を指示するもの、事実を子どもに認識させるもの、子どもの気持ちを引き出すものなど、いろいろな種類の言葉かけがみられる。

保育士の人数が少なくなれば、それだけ子どもに対する言葉かけの種類としては、次の活動や次の活動場所などを指示するための言葉かけが多くなる。今回の観察では保育士の会話のすべてを記録しているわけではなく、主なものだけが部分的に記録されているにすぎないため、量的な分析まではできなかった。子どもへの語りかけは、保育の質にも大きく関わるものであり、今後、さらに詳細な検討が必要であろう。

#### ⑥子どもが泣いた場合の対応

観察記録の中でよく見られるのが、抱っこやオンプなどをしながら、何らかの活動をするという行動である。たとえば、D保育園（2回目）の保育士Aは、10時20分から10時25分の間で、1人の子どもが激しく泣いたことから、その子どもを抱っこしながら、他の子どもたちとそれまでの遊びを続けている。子どもが泣き出した場合、その子どもに保育士の手がかかってしまい、他の子どもへの対応が手薄になってしまうことが多い。実際、B保育園において12時05分からしばらくの間、一人の子どもが大泣きしてしまうことで、食事から午睡に向かう保育がスムーズに流れないところも見られた。

少人数の保育士で、泣いている子への対応と他の子どもへの保育を同時に満たすためには、保育士が抱っこやオンプなどをしながら対応をせざるを得ない。このことは、保育士の負担の増大につながるると同時に、とっさのときの保育士の対応を遅らせるという意味で子どもの危険につながる可能性もある。実際、1歳児という年齢は、まだまだちょっとしたことで泣き出してしまいがちの時期である。こうしたことを考えると、保育士の人数は、ある程度、余裕をもった人数が必要であろう。

### (3) 方法論上の反省点

#### ①観察時期の妥当性

今回の観察は、2月という年度末に行われた。しかし、保育所長等からもヒアリングの際に指摘を受けたが、この2月という時期に観察を行ったことは研究計画やや不適切であったと思われる。年度初めと年度末では、子どもの年齢は大きく異なり、1歳児クラスといっても、年度末にはほとんどの子どもが2歳を超えている。また、4月から通っている子どもにとっては、保育所や保育士などの保育環境に十分に慣れてきている。その意味では、いわば、もっとうまく保育ができる状態のときに観察を行ったといえる。

したがって、4～5月など年度初めでは子どもの様子も異なり、保育士の関わり方も大きく異なる可能性がある。おそらく、今回の観察以上に、保育士の業務の多様さと複雑さが増すだろうと推察される。今後、観察時期を改めて観察を行い、時期による違いを比較検討する必要があるであろう。

#### ②今回は観察されなかった側面

今回の観察研究では、あくまで外的に観察できることを中心に記録した。保育の実践においては、保育士は常に頭の中でさまざまな意図をもって活動していると考えられるが、そうしたものがすべて記録されているわけではない。保育士の業務は、外に現れないものもある。たとえば、子どもへの注意については、視線等を細かく分析すればある程度はみえてくるかもしれない。しかし、すべてを観察だけで分析することは不可能であろう。外的には現れない保育士の意識をうまく評価するような試みが必要である。

また、今回の観察記録は、午前中の保育活動に限定して行われた。午前の活動と午後の活動には類似するところもあるが、午後の活動が午前とまったく同じというわけではない。また、子どもが帰宅した後もいろいろな業務が存在するし、保育所内で対応できずに保育所外で行われている業務もあるであろう。このように、今回観察でき

なかったところも、今後は十分に考察していく必要がある。

#### ③データの件数

今回の観察研究は、4園という限られた保育所の、ある1日（1園のみ2日）という限られた日の保育に基づくものである。保育士の業務は、どのような保育を実践するかによって大きく変わるところがあり、その意味では、結論を一般化するには、データの数は必ずしも十分とはいえない。今後、より多くの保育所で、そしてより多くの場面で、データを集めていく必要がある。

しかし、実際に保育現場の仕事を観察して分析していくことは多大な労力を要する。次項でそのあたりのことも含め、今後の可能性について考察したい。

### (4) 今後の検討に向けた一つの試み

前項で述べたように、今後、多数の保育士の行動をより客観的に記述することが必要である。今回の研究では、直接観察により考察を行ったが、直接観察という方法の場合、観察者の多大な労力を要するという問題や、観察者の主観的要素が入り込む余地があり客観性に弱いという問題などが避けられない。そのため、保育士の活動の様子を記述するために、より簡便で、より客観的な方法論を開発することは、重要な研究テーマといえる。

人間の活動パターンを記録する一つの方法論として、加速度センサーを用いて身体の動きの加速度パターンを記述するという方法があげられる。典型的な活動の加速度パターンを定義することができれば、測定した加速度パターンからその人の活動内容を推定することも可能となる。実際に、加速度センサーを用いて看護師の職務を分析しようとする試みも行われている（国際電気通信基礎技術研究所）。

ここでは、保育士の身体に加速度センサーを取り付け、その行動を加速度パターンとして記述し、分析することを試みてみた。加速度センサーは、



腕（利き腕）、胸、腰の3ヶ所にとりつけた。

測定機器として、ワイヤレステクノロジー株式会社製の小型無線加速度センサー WAA-001（図表4-11の写真を参照）を用いた。この機器には、3軸の加速度センサーが搭載されており、これを装着した人の動きを3次元での加速度として計測することができる。また、Bluetooth搭載により無線によりパソコンにデータを送信することができ、ケーブルにより動作が阻害されることなく、自然な活動を測定できる。

今回、実際に保育士に加速度センサーを取り付けて測定した加速度パターンの一例を、図表4-12に示した。これは、子どもの午睡時の保育士の活動の様子を加速度パターンとして描いたものである。このグラフからは、次のことがわかる。胸は上下や前後にはほとんど動いていないが、左右に一定の周期で動いている。腰も、同様に上下や前後にはほとんど動いておらず、胸と連動する周期で左右に動いているが、その動きは胸に比べると小さい。腕は、胸と同期して左右に動くとともに、上下や前後にも動きが見られる。このときの実際の保育士の活動は、子どもを寝かしつけるために、子どもの間に座って左右に体を動かしながら、代わる代わる子どもの体をトントンしている状態である。このように、一定の活動が、加速度パターンのグラフとして表現することができるわけである。

今回は、保育士に加速度センサーをとりつけて1日の保育の動きを何回か測定してみた。しかし、保育士の行動が思ったより激しかったためか、測定不能な状態に陥ることが頻繁に生じ、腕と胸と腰の3ヶ所のデータを同時にとることができたのは、前述の午睡の援助時のものをはじめとしてわずかであった。加速度センサーにより、自動的に保育士の活動を測定できれば、保育士の職務内容の分析という点でとても有用である。今後も、その方法論の可否について、検討をすすめていきたい。

図表 4-1 A 保育園の観察記録

観察したクラス： 1 歳児クラス  
 児童の数： 15 名  
 保育士数： 3 名 (この 3 名を観察)

観察日時： 平成 21 年 2 月 16 日 (月)【天候： 晴】  
 9 時 00 分 ～ 12 時 05 分

	保育士 A (観察者の都合によりデータなし)	保育士 B おやつ準備 (机をふく、配膳) 子どもの様子を見る 言葉かけ 3 人	保育士 C (観察者の都合によりデータなし)
9:00			
9:05	2 人の園児にエプロンをつける エプロンがずれるので直す テーパーの 8 人を担当し、おやつ摂取状況を確認する おやつ摂取状況について A と B 打ち合わせ 園庭遊びの可否や、帽子、遊び終了時の足洗いの方法を 保育士 B と打ち合わせ	手洗いに誘う 1 人 「マンマ」ももぐもぐをしてみせる ごちそうさまの言葉かけ 1 人 保育士 A と打ち合わせ	お茶の入ったコップを配る おやつを食べている様子を見ている 歯ブラシを配る 食べ終わった子から、歯ブラシで歯を磨いてあげる
9:10	おやつコップ、皿の片付けのため調乳室往復する 排泄を促し、トイレに誘う 1 人 排泄介助 1 人 排泄のため脱いだ子のパンツ、ズボンを裏返し、調える 履くときに援助する 5 人の子どもを順次園庭へ誘導する。 「5 人でまーす」と A と C に声をかける 靴を履く援助	歯磨き 3 人 トイレ、手洗い、ズボンをはかせる 1 人 戸外へ出る準備 帽子をかぶせる 4 人	ぐずっている子に語りかけ、おやつを食べるようにうながす 歯ブラシで歯を磨く 食べ終わった子のお皿をかたづけ コップをかたづける 歯を磨いた子にお茶を飲ませる
9:15	ズック履き援助 5 人 ベランダから三輪車を園庭中央付近まで運ぶ 1 台 子どもが三輪車に乗ったままの状態で背中を押す 2 段の階段をおろし、園庭中央付近まで背中を押す ペタルの踏み方を伝える 背中を押して進ませる	戸外へ出る準備 帽子をかぶせる 3 人しながら女児を だっこ。 靴下を脱がせる 5 人 おやつを食べているこのところに行く、声かけ 2 人 食べ終わると靴下を脱がせる 外へ出る準備をさせる 5 人 食事をしていている子を見に行く 3 人	片付けをしながら、おやつを食べている子に話しかける 歯ブラシで歯を磨き、お茶を飲ませる 終わった後、外へ行くように促す 下げたコップを洗い流しの廊下にかたづける 歯ブラシを片付ける テーパーをふく おやつのお皿を、一人の女の子と一緒に、調理室へ運んで片付けに行く
9:20	一人手をひき三輪車の子ども」の背中を押す	園庭遊び (三輪車で遊ぶ子 6 人と一緒に遊ぶ)	女の子と一緒に部屋に戻り、部屋の電気を消し、エプロ

	<p>砂場の子どもに近づき話かける 2人 2人のトランプの仲森に入る 園庭で遊ぶ子どもの数を数える 砂場から門扉周辺に移動し、4人の子どもを園庭や砂場に誘導する 砂場に戻り、7人を見守る 話しかける 遊べない子に声をかける</p>		<p>ンを外し、子どもに赤い帽子をかぶせて、園庭へ行く部屋に戻り、中を確認する 部屋の中にいた子を抱いて、連れていく 靴をはかせ、手をひいてみんながいる砂場に連れて行く 園庭に散らばった子どもを探し、様子を見る 砂場で、子ども2人とすわりこんで一緒に遊ぶ</p>
9:25	<p>甘えてきた子をおんぶする 一人 しゃがみこんで話を聞く 7人 7人と一緒に園庭内でやまを作り始める 立ち上がり子どもの数を確認 安全な位置にいるか体を移動させて確認 元に戻る</p>	<p>三輪車で遊ぶ子に声をかける6人 鼻をかんでやる1人 泣いている子を抱っこ</p>	<p>子どもの母親が来たので、その母親の対応のため部屋に入り、走って事務所のほうへ行く 母親と話したあと、園庭へ戻る ふらふらしている子に声をかけ、遊びに誘う 全体を見ながら、子どもへ声掛けしたり、遊んだりしている(2~3人を常に相手にしている) 座り込んで、2人と遊んでいる</p>
9:30	<p>砂場の遊具を近くの子に配分する お茶を飲むまねをしてごっこ遊びの相手をする 7人に話しかける</p>	<p>三輪車で遊ぶ子について走る6人 子どもについて走る 輪を出してくる 輪で遊ぶ子と話す3人</p>	<p>遊び道具を持ってきたり、声掛けをして遊びに関わる 座り込んで、じっくり遊んでいる(子ども2人)</p>
9:35	<p>立ち上がり子どもの数を数と遊びを確認する シャベルやカップなど広がり遊具を片付ける 人数確認をする 子どもの数と遊びを確認する 帽子をかぶせなおしをする 園庭に広がった遊具を片付ける 登園した子の視診をし、腫疹に気づく 近くの保育士に腫疹について相談する</p>	<p>輪で遊ぶ 泣いている女児を抱っこしながら 遊んでいる子に声をかける 7人</p>	<p>座り込んで、じっくり遊んでいる(子ども2人) ひとりの子を連れて部屋へはいる</p>
9:40	<p>三輪車に乗っている子どもの背中を押す 押しながら、安全な位置につれていく 不安そうな表情の子どもの手をつないで園庭一周する その子を園庭から使用できるトイレに誘導する</p>	<p>保護者1人と会話 子どもと対話2人 ボールを出してボール遊び</p>	<p>トイレの前で、ズボンに尿が紙パンツのままトイレ奥へ連れて行く エプロン、手袋をして、ウンチを漏らしてしまっただの子のおしりを御湯で洗浄をする タオルで、おしりをきれいにふき、エプロン、手ぶくろを外し、トイレの前で、紙パンツをはかせ、ズボンをはかせる 手をつないで、外に連れて行く 靴をはかせ帽子をかぶせる</p>

9:45	室内の保育士に声をかけ排泄援助をお願いする 子どもの靴を抜かせてトイレへ誘導する 砂場に戻り、けんかをしている子の仲敷をする トイレ誘導した子どもについて保育士と打ち合わせ 登園した子どもの顔色、湿疹について相談する	遊んでいる子ども一人ひとりと会話 6人 砂場に近寄る・・・砂場で遊んでいる子に声をかける	園庭で転んだ子の様子を、他の保育士とともに確認する 三輪車に乗る援助をする 埋り込んで、3人の子どもと関わりながら、他で遊ぶ子がどこにいても確認する ひとりの子どもを膝に乗せて語りかけている
9:50	散らばったシヤベル、皿を片付ける 子ども数と遊びの確認をする ベランダの隅にいる子どもと相手をすると 死角になる園庭の植え込み後方の子ども2人誘導する	砂場で遊んでいる子に声をかける3人 滑り台2人 砂場3人 ぼーる2人の様子を観察し必要に応じて声かけ	押し車で遊ぶ子とおまごをすをする子とに開かれている(子ども4人→5人→6人と増えていく) ひとり、ずつと保育士の体に接触している子がいる(抱き付いたり、膝に乗ったり、)
9:55	保護者と子どもたちの様子について話しあう。 (自分の体調を回復させるために保育室の一角で横になって子どもを観察している保護者) 門扉付近のトラブルに気づき近づくと 別の保育士が関わったのを見て砂場に戻る 三輪車に乗る子どもを背中を押して前進させる カメラを取りに保育室へ行く	鼻をかんでやる1人 トイレへ行きズボンと靴が2人「でたかなあ」 トイレの始末を確認 「手を洗ったかなあ」 手洗いに誘う	2人の子とおまごをすをしている 立ち上がり、園庭の隅にいる子のところに行く 声をかけながら、みんなのいるところに連れてくる 2人と手をつなぎ、園庭を散歩する ひとり膝を抱えて声をかけ、かかわる 2人の子が来て一緒に遊ぶ 座り姿勢
10:00	三輪車を通してのふれあいの様子をカメラで撮る (保護者通信用記録写真) 砂場に散らばった遊具を片付ける 脱げた靴の持ち主を探す 人数と遊びの確認 何か不審な音を気にして周囲を探査する 園庭や園舎を回り確認している。 排せ時刻などについて打ち合わせ	滑り台で遊んでいる子と関わる8人 一人ひとりに声をかける トイレへ行きズボンと靴が2人「でたかなあ」 トイレの始末を確認 「手を洗ったかなあ」 手洗いに誘う	ボールを持って来て、ボール遊びを始める ひとりぼっちになっている子がいらないかどうか目を配っている 滑り込んで子どもと遊ぶ 滑り台で遊んでいるところに行き、他の保育士の援助をする (10人ぐらい) 階段の上から、安全面を見ている 順番に上ること、踊り場を押したりしないことなど伝えながら、体を支えたりしている 階段の下で遊び出す子に声をかける
10:05	遊びに加わらない女児に話かける 電車ごっこをしながら門扉付近の子に注意する 電車ごっこで園庭3周して砂場に戻る 人数と遊びの確認	滑り台で遊んでいる子と関わる8人 一人ひとりに声をかけるをする「順番ですよ」「そちらから来ると危ないです」「並んでね」「すべれたすべれた」 鼻をかむ1人 保育士と話す	滑り台の下で遊び出す子に声をかける 階段の下での遊びが続く(2人の保育士が関わっている) 階段の下で、砂で遊び出す子に対応しながら、階段を上る子の援助をしている
10:10	鼻拭き 砂場の遊具片付け 人数と遊びを確認する 植え込みの後方で遊ぶ3人を砂場や、園庭中央に誘う	トラブルの仲立ち4人 (車2台の取り合い) もう一つあるよと言って渡してやる 遊びを見守る 車、砂場、三輪車	滑り台での遊びが続く(2人の保育士が関わっている) 階段側の援助をしている